

りゅうきゅうあい

*Strobilanthes flaccidifolius* Nees

琉球、台湾、印度支那等の樹下に生ずる半灌木性草本で、高さ50-80cmに達し、幼茎及び花序に短茸毛があるほかは全株無毛、葉は対生し、卵形又は卵状披針形で、先端尖り、基部は急に狭まり、短柄がある。辺縁に粗に低鋸歯があり、稍多肉。夏日、枝頂に穂状をなして、長さ3-5cmの淡紅紫色の花を数個開く。苞は有柄卵形、小苞は5個の萼裂片と共に鈍頭線形である。花筒は狭い基部から拡がり、少しく彎曲して、先端は浅く5裂して稍二層状を呈し、稍と横方を向く。二強の4雄蕊、1花柱がある。鹿児島県下及び南方各地で栽培し、夏秋に茎葉を刈り取り、これより藍を製する。

きしねのきこ科

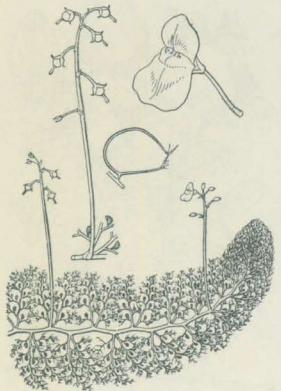


のたぬきも

*Utricularia pilosa* Makino

本州中部以西の池沼中に浮んで生育する1年生の水草である。葉は互生し、糸状に分れた裂片は立体的にひろがっている特性があり、裂片の先には1本の小さい刺があり、基に近く少数の捕虫囊をつけている。夏秋、葉腋からやや太い花茎を水上に出し、高さ6-15cmで途中には全く鱗片葉がなく、総状に花をつける。花冠は黄色で径6-7mm、距は下唇とほぼ同じ長さで鈍頭、距と下唇の下面には毛がある。花梗は長さ1cm以下、果時には下向し、上部は太まり、蒴果は球形である。タヌキモと比べ、1年生で冬芽を作らず、葉の糸状裂片は上下の方向にもわかれ、花茎に鱗片葉なく、果梗は短厚、花は小さく下唇は巾が狭い点で異っている。

たぬきも草



やまびわそう

*Isanthera discolor* Maxim.

屋久島以南フィリピンに産する多年生草本で、茎は高さ40cmに達し太く、若い部分は綿毛が密生している。葉は茎の上部に互生し、長倒卵形で先はとがり基は漸次楔状に細まって柄になり、縁には低い鋸歯があり、大形で長さ10-25cm巾3-8cm、下面には特に綿毛が多く、又隆起した細点が密にある。夏秋、葉腋から花茎をだし、聚繖状に多くの小花を密につける。花は白色で径約7mm、萼は長さ6-8mmでもとまで5裂し、裂片は線形で綿毛が密生している。花冠も5深裂し、裂片は円い。4雄蕊、1雌蕊。果実は長橢円形で長さ6-7mmある。

いわたばこ科



あめりかきささげ

*Catalpa bignonioides* Walt.

北米原産の落葉喬木で、時々庭園に植えられている。枝は太く横にひろがり、葉は対生時に輪生し、長い柄があり、卵形で先は鋭く尖り、基は浅い心形をなし、長径共10-25cm許、通常全辺であるが時に浅く3裂し、下面に軟毛があり、脈腋に腺体がある。6月、枝端に大きい円錐花序をなして、径4cm内外の花を開く。萼は上下2片に分れる。花冠は唇状、筒部は鐘形をなし、上唇は浅く2裂し下唇は3裂、白色で内側に黄色のすじと暗紫色の細点がある。2雄蕊、1雌蕊。蒴果は長く垂れ下り少し扁圧され、長さ20-30cm巾6-10mm、裂開して長橢円形で平たく両端に長い絹毛をつけた多くの種子をだす。キササゲよりも花は大きく白く美しい。

のうぜんかずら科



らすゆきくちなしぐさ

*Monochasma Savatieri* Franch.

支那に産し九州天草島に見出された多年生草本。茎は簇生し長さ15-30cm許、茎と共に白綿毛におおわれている。葉は通常対生し、茎下部のものは小形で特に密につき、披針形で両端尖り、長さ5-25mm巾1-3mmある。春、茎上部の葉腋に花をつけ、花序の部分は白綿毛なく軟毛が生えている。花は短い柄があり、萼は長さ約1.5cm、筒部は鐘状で披針形の長い4裂片がある。花冠は唇状で淡紅紫色、長さ2-2.5cm、下唇は大きく3裂している。花がすむと萼は大きくなり、内に蒴果をつつむ。和名は薄雪クちなシグサの意味で、クちなシグサに近く、全体に白綿毛があり白っぽく見えるので名付けられた。

ごまのはぐさ科



たかねまごな

*Melampyrum laxum* Miq.

var. *arcuatum* Soo

(= *M. arcuatum* Nakai)

本州中部の亜高山帯に産する1年生の草本で、乾くと全体黒っぽくなる。茎は高さ10-30cm、通常弓状に立ち上る少数の枝を分ち、両側に毛が生えている。葉は柄があり対生し、披針形で全辺、長さ1-3cm巾3-12mm、上面に微毛がある。夏、上部の漸次小形になった披針形の葉の腋に花をつける。花梗はきわめて短く、萼は鐘状で長さ2-3mm、5中裂し、裂片は長橢円形でやや鈍頭、殆ど毛がない。花冠は淡黄白色で長さ8-12mm、花喉の両側は橙黄色、下唇内面に2個の飯粒状の斑点がある。ミヤマママコナに近いが全体小さく、葉は細長く赤味があり、花は小さく淡黄白色である。和名は高嶺に産するママコナの意味である。

ごまのはぐさ科

